

2 当初予算の主要な事業の状況

1 教育・文化

1 子どもの学びと成長を支える教育の充実

新規 小・中学校管理運営事業 (学習用端末機器更新事業)

112,585 千円 予算書 185、189 ページ 《 担当 総務学事課 》

GIGAスクール構想第1期で整備した学習用端末が更新時期を迎えるため、機器の更新を行います。児童・生徒に1人1台端末を整備することで、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指します。

新規 小・中学校管理運営事業 (照明設備LED化事業)

240,000 千円 予算書 185、189 ページ 《 担当 総務学事課 》

温室効果ガスや消費電力を削減するため、大竹小学校、小方小・中学校の照明設備をLED照明に更新します。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

新規 給食センター運営事業 (照明設備LED化事業)

20,000 千円 予算書 210 ページ 《 担当 総務学事課 》

温室効果ガスや消費電力を削減するため、給食センターの照明設備をLED照明に更新します。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

拡充

学校教育振興事業（学校運営協議会設置事業）

400 千円 予算書 181 ページ 《 担当 総務学事課 》

保護者代表、地域住民、学校支援者、校長、担当教諭等から構成された学校運営協議会を、市内小・中学校すべてに設置します。

保護者や地域の方々が学校運営に参画し、目標やビジョンを共有して、社会総がかりで子ども達の育成や学校運営の改善を進めていくことを目指します。

奨学金貸付事業

9,111 千円 予算書 182 ページ 《 担当 総務学事課 》

経済的な理由により修学の機会がなくなることのないよう、学資の貸付を行います。

また、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。

こども相談室運営事業

10,938 千円 予算書 182～183 ページ 《 担当 総務学事課 》

家庭などで問題を抱えながら生活をしている子ども・保護者などに対して、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対して、学習・生活面での支援を行い、社会的自立への基礎を培います。

※ 36 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

小・中学校教育振興事業 (ICT支援員配置事業)

10,956 千円 予算書 186、190 ページ 《 担当 総務学事課 》

児童・生徒の情報活用能力を高め、多様な問題を解決できる能力の育成を目指すため、1人1台端末を授業等で活用しています。そのために必要となる教員のICT機器活用力の向上、機器の不具合への対応、情報セキュリティ対策の強化等のため、専門的な知識をもつICT支援員を配置します。

小・中学校学習環境サポート・読書活動推進事業

29,308 千円 予算書 187、191 ページ 《 担当 総務学事課 》

通常の学級に在籍する発達障害等のある児童・生徒へのサポートのため「学級支援員」を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行います。

学校図書館に読書や学習活動を支援する「読書活動推進員」を配置し、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。

中学校管理運営事業 (玖波中学校施設環境改善事業)

35,000 千円 予算書 189 ページ 《 担当 総務学事課 》

玖波中学校の教育環境を改善するため、多目的トイレの設置及び1階トイレの改修工事を行います。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

中学校教育振興事業（英語力向上事業）

929 千円 予算書 189 ページ 《 担当 総務学事課 》

日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、市内の中学校に通う中学３年生を対象に全額助成（年１回）します。中学卒業までに取得する目標の級を定めることで、中学生全体の英語力の向上を目指します。

学校給食費支援事業

188,957 千円 予算書 208～209 ページ 《 担当 総務学事課 》

（事業費108,957千円、基金積立80,000千円）

大竹市立学校に在籍する児童・生徒の保護者が負担する学校給食費を全額免除することで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進します。（事業費は、児童生徒の学校給食費（賄材料費）と学校給食費支援事業補助金の合算額としています。）

また、今後も継続して事業を実施するため、米空母艦載機部隊配備特別交付金を財源として、にこにこども基金に積み立てます。

2 未来を担う子ども・青少年の健全な育成

学校連携・子どもの居場所づくり事業 （放課後児童クラブ運営事業）

75,846 千円 予算書 196～197 ページ 《 担当 生涯学習課 》

放課後や長期休暇中に、仕事などで昼間家庭に保護者がいない児童に対して、適切な遊びの場や生活の場を提供し、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援します。

※ 36 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室事業)

2,000 千円 予算書 197 ページ 《 担当 生涯学習課 》

放課後などに、学校や公民館等を活用して子どもたちの有意義な活動拠点（居場所）を設け、地域や各種団体等の協力を得て、さまざまな体験活動や学習機会の場を提供します。

3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

新規

大竹会館管理事業（照明設備LED化事業）

16,000 千円 予算書 200 ページ 《 担当 生涯学習課 》

温室効果ガスや消費電力を削減するため、大竹会館（アゼリアおおたけ）の照明設備をLED照明に更新します。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

玖波地域交流施設整備事業

563,500 千円 予算書 194 ページ 《 担当 生涯学習課 》

築50年を経過する玖波公民館を、コミュニティサロン玖波の機能を統合した地域交流施設として新たに整備します。

令和8年度末までに完成予定で、令和7年度は、令和6年度に引き続き設計業務を行い、建設工事に着手します。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください